



岩松小学校だより



学校だより 第19号

令和8年9月11日発行

発行者 校長 真子靖弘

まちの「かけーOTONA!」プロジェクト始動

地域社会で生き生きと働く大人との出会いを通じ、子どもたちが主体的に学び、自分たちの手で未来を切り拓く力を育む「かけーOTONA!」プロジェクトが9/7(月)にスタートしました。

記念すべき第1回のゲストとして、**天山酒造株式会社社員の後藤潤様**を6年生の教室へお招きしました。講演テーマは「『好き』から始まった、僕の人生」。宇宙への憧れや大学での学び、プラントエンジニアを経て酒造りの世界へ飛び込んだ歩みを振り返り、「**一見関係のない経験も、あとから振り返ると一本につながっている**」と、目の前の学びや挑戦の大切さを語られました。



また、「**伝統は変えながら残すもの**」として、伝統技術に最新の試みを融合させる挑戦や、「**良い酒は良いチームから**」という相手を思いやる「**和醸良酒**」の精神を紹介。「**好きなことを仕事にする?**」「**伝統と新しいこと、どう両立する?**」といった**問い**が子どもたちへ投げかけられました。

後藤様からの「『好き』『面白い』『やってみたい』を大切に。今、夢が決まっていなくても大丈夫。人生は思っていたより面白い!」という温かいメッセージは、子どもたちの心に深く響きました。

ご家庭でもぜひ、本日の講演についてお子様と話題にし、未来や夢について語り合ってみてください。

子ども主体の取組で成果 ～アイルプール大作戦～

児童会健康委員会と育友会のコラボ企画、「**夏休み中のアイルプールの利用率アップ大作戦**」が**大成功**を収め、**3～5年生の利用者数が激増**しました。このように、子どもたちが主体となって前向きな気持ちで取り組む姿勢は大変素晴らしいと、嘉村育友会会長もおっしゃっていました。



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
R8	6	3	37	28	32	26	132人

(同児童 R7) (3) (21) (18) (19) (27)

母校とつながる温かい絆～「保護者おすすめの本」より～

「図書館だより7月号」の企画「**保護者がすすめるおすすめの本**」へ、本日までに**2名の方からメッセージ**をいただきました。ご寄稿いただいた皆様、本当にありがとうございます。

そのお一人は、なんと本校の卒業生(中学生)でした。卒業後も母校とつながってくれる喜びを深く感じずにはられません。



【おすすめの本】『二番目の悪者』

【おすすめポイント】

「校長先生は私が読み聞かせをしたのを覚えていていますか?この本は、『自分は本当に悪くなかったのか』と深く考えさせてくれる本です。みんなにも読んでほしいなあ～!!」

もちろん、しっかり覚えています!実は『二番目の悪者』は、私自身も子どもたちにおすすめした一冊です。周囲の情報に流されず「**真実を見極めること**」や「**自分自身の振る舞い**」について深く考えさせられる、**実に奥深い絵本**です。

素敵な本のご紹介と、心温まるエピソードをありがとうございました。ぜひご家庭でも、読書の秋に向けて親子で手にとっていただければ幸いです。

自ら時間をデザインする

2学期も、変化に柔軟に対応しながら実践を重ねる「**アジャイル思考**」で、子どもと教職員の双方にとって「**Well-being(心身ともに満たされた状態)**」な学校づくりを目指してまいります。その試みのひとつとして、今学期より数回「**短縮校時(40分授業)**」を試行導入することとし、本日、第1回目を実施いたしました。通常校時と比べて下校時間が約50分早くなります。この生み出された時間を、子どもたちが自ら考えて主体的に使い、**自律的なタイムマネジメント(時間管理)力を高める機会**にしてほしいと願っています。ご家庭でも、ぜひ放課後の過ごし方についてお子様と話題にしてみてください。

